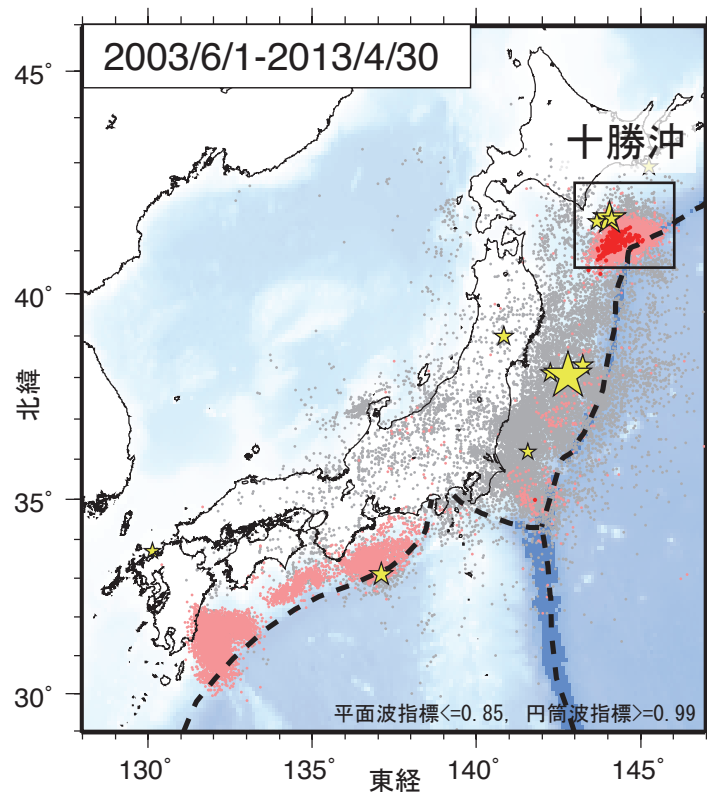
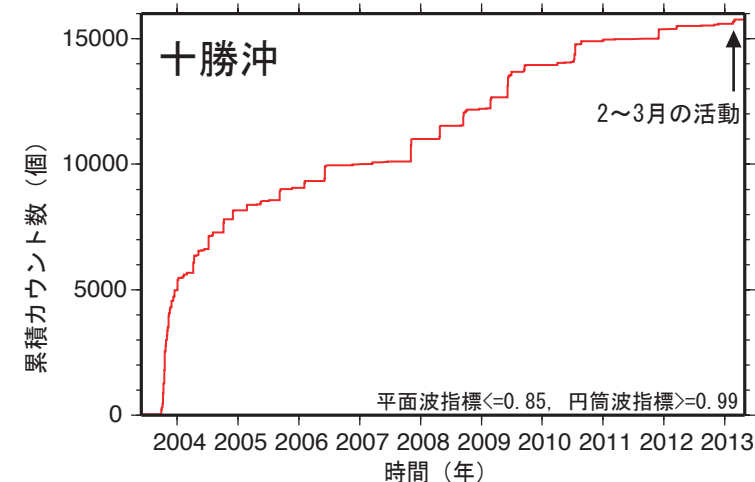


日本周辺における浅部超低周波地震活動（2013年2月～4月）

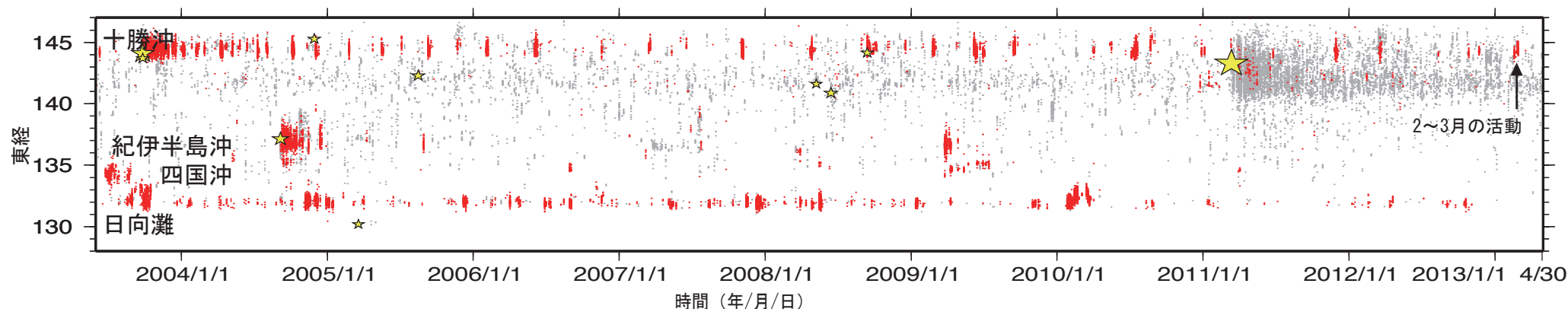


● 2月中旬から3月上旬に十勝沖でやや活発な超低周波地震活動
(2月15日～20日, 24日～26日, および3月4日に超低周波地震を検出,
やや活発な活動は2012年3月以来, 約11ヶ月ぶり)

第1図. 2003年6月1日から2013年4月30日までの期間にアレイ解析によって検出されたイベントの震央分布. 検出イベントを防災科研 Hi-net の手動, または自動検測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外を桃色 (2013年1月31日以前), および赤色 (2月1日以降) の点でそれぞれ示す. これらは主として周期10秒以上に卓越する超低周波地震を表すが, 東北地方太平洋沖地震の発生以降は, 除去しきれない通常の地震を多数含む. 期間内に発生したM7以上の地震の震央を黄色星印で併せて示す (ただし, 2011年3月11日以降は東北地方太平洋沖地震の本震のみ).



第2図. 十勝沖における検出イベントの累積カウンタ数の時間変化. 幅60秒間の解析時間窓を15秒毎に設定し, それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に1カウントと数えるよう定義した.



第3図. 2003年6月1日から2013年4月30日までの期間に検出されたイベントの時空間分布. 検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動検測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外を赤色の点でそれぞれ示す. その他は第1図に同じ.

防災科学技術研究所資料